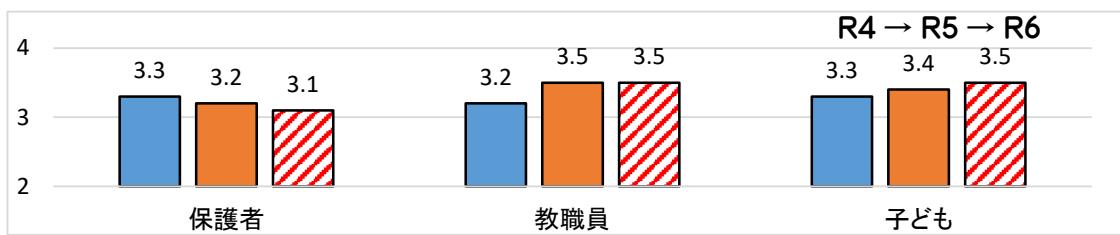


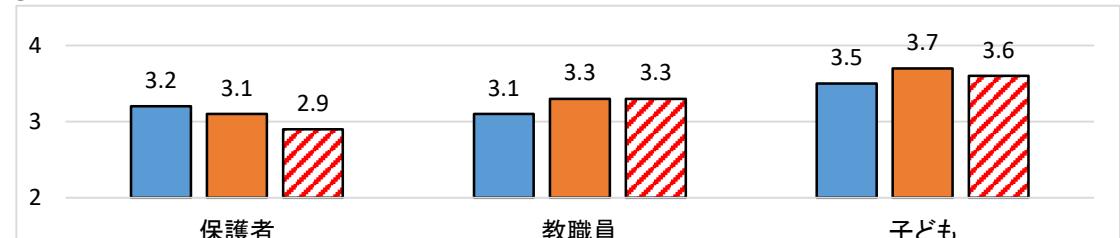
令和6年度 宇城市立河江小学校 学校評価結果(保護者・教職員・児童の経年比較)

①道徳教育の充実 【思いやりの心や規範意識を育成している】



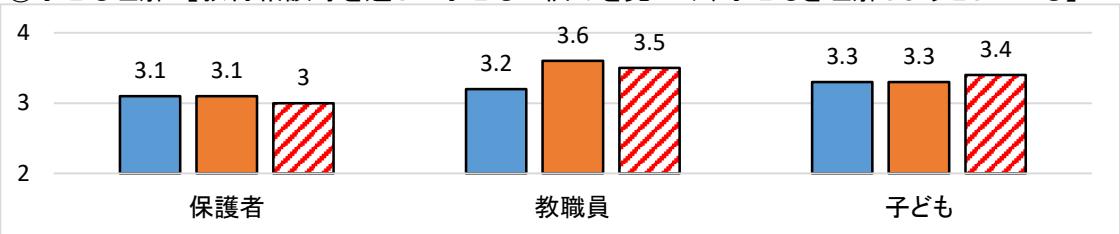
子ども、教職員ともに意識が高い傾向が数年間続いている。今後もすべての教育課程を通して道徳教育を充実させるとともに、保護者に対しても子供の学びの姿を通信等で紹介していきたい。

②人権への配慮 【人権に配慮し、一人一人を大切にした指導や対応ができている】



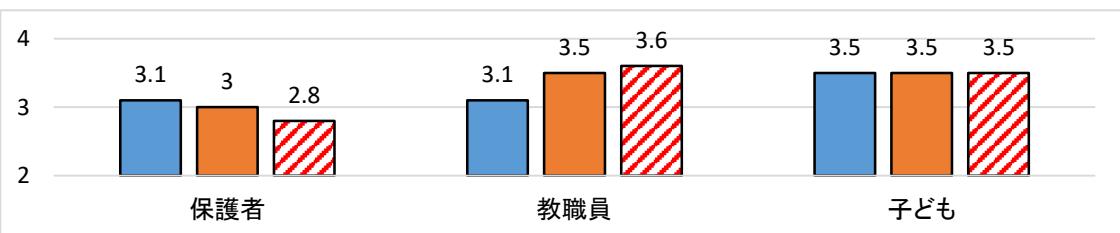
子ども、教職員ともに人権に配慮した人間関係づくり、教育活動ができると感じている。今後も人権教育を基盤とした学校運営・学級経営を展開するとともに、保護者に対しても学校の取組を紹介し人権啓発を図っていきたい。

③子ども理解 【教育相談等を通して子どもの悩みを見つけ、子どもを理解しようとしている】



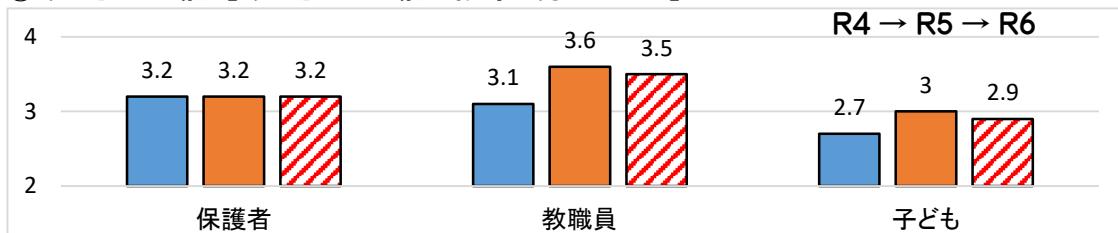
子ども、教職員ともに教育相談等を通じた子ども理解の推進が図られていると感じている。今後も子どもの話を傾聴し、真摯に向き合って子どもの健やかな成長につなげていきたい。

④いじめ・不登校への対応 【いじめや不登校の未然防止に適切に対応している】



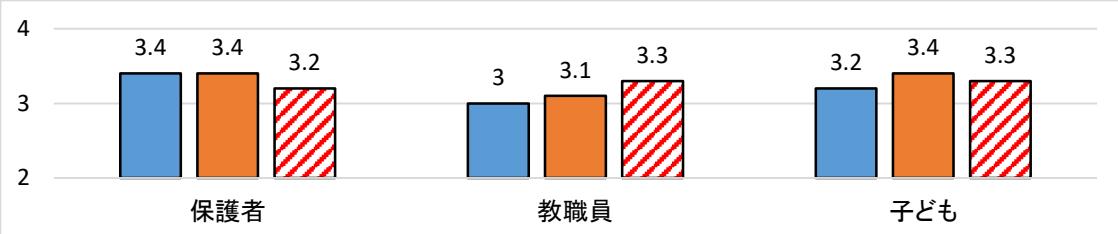
子ども、教職員ともにいじめをさせない、許さない学級づくりに努めている状況がうかがえる。今後もどのような理由があつてもいじめは絶対に許されないことを学校全体で共有していきたい。

⑤あいさつ・礼儀 【あいさつや礼儀の指導に努めている】



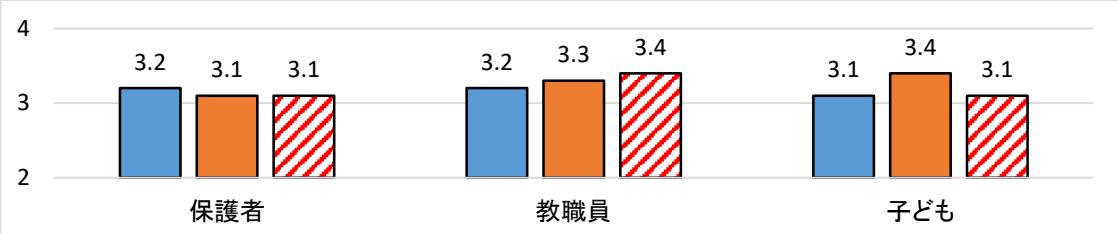
保護者、教職員ともにあいさつの励行に努めている傾向はみられるが、子どもの意識及び実践がそれに伴っていない傾向が見られる。今後は「二言あいさつ」等のあいさつの工夫を取り入れながら、自らあいさつを実践できる子どもを育てていきたい。

⑥環境美化 【掃除が徹底していて、きれいに整備されている】



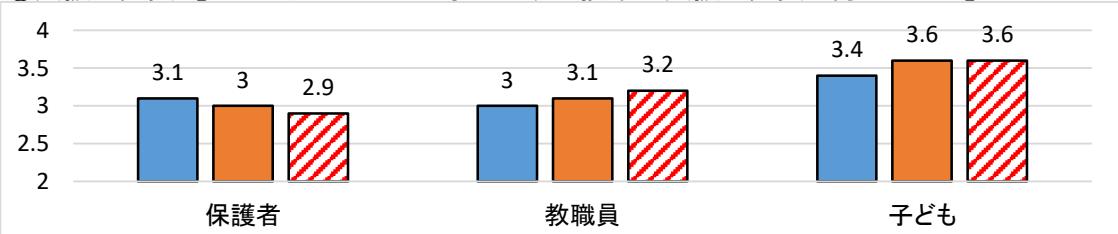
子ども、教職員、保護者ともに環境美化の取組がおおむねできていると感じている。教職員の意識が向上している反面、子ども及び保護者の意識がやや下降しているため、更なる取組の充実が求められる。

⑦基礎・基本の定着 【基礎・基本の定着を図る授業を実践している】



教職員の意識は高いものの、保護者、子どもの意識として基礎・基本の定着が十分にできているとは言い難い。令和6年度の学力調査(12月)結果から学校全体として伸びてきているので、今後も粘り強く指導していきたい。

⑧支援の充実 【全ての児童にとって学びやすい授業の支援の充実に努めている】



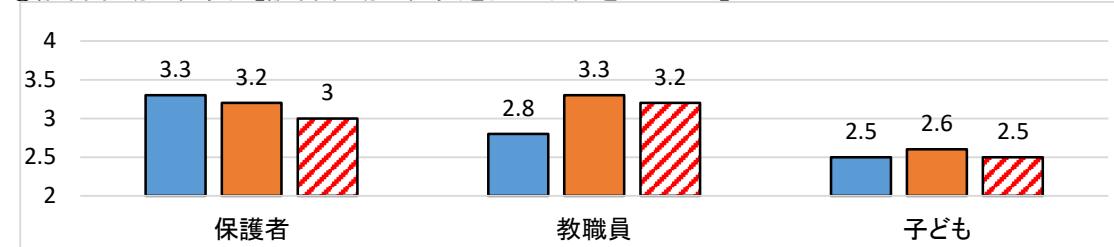
子ども、教職員ともに学習支援の充実が図られていると感じている。特に教職員の意識が次第に高まっており、今後も教育環境の整備と支援体制の充実をしっかり行っていきたい。

⑨外国語教育の充実 【ALTと連携しながら外国語教育の指導に努めている】



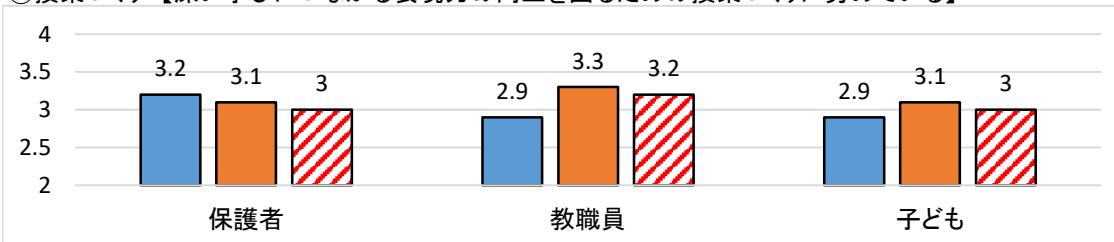
子ども、教職員ともに外国語教育の充実が図られていると感じている。今年度から英語専科教員も配置されており、ALTと連携しながら今後も更なる充実を図っていきたい。

⑩読書活動の充実 【読書活動の充実を図る取組をしている】



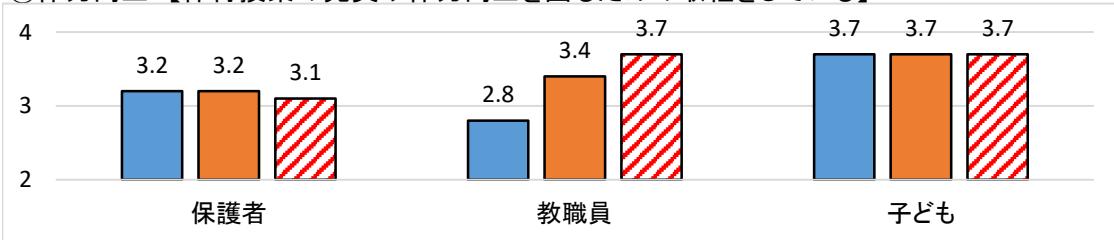
子どもの意識としては読書活動の充実が十分にできていないと感じている傾向が例年続いている。保護者、教職員も評価が下降しており、今後は取組の工夫が必要不可欠である。

⑪授業づくり 【深い学びにつながる表現力の向上を図るための授業づくりに努めている】



令和5年度から学校体育研究推進校として、体育を中心にすべての教科等で授業づくりに力を入れてきたが、思考力・判断力・表現力の育成については、今後、校内研修等で検討を重ね、改善しなければならない。

⑫体力向上 【体育授業の充実や体力向上を図るための取組をしている】



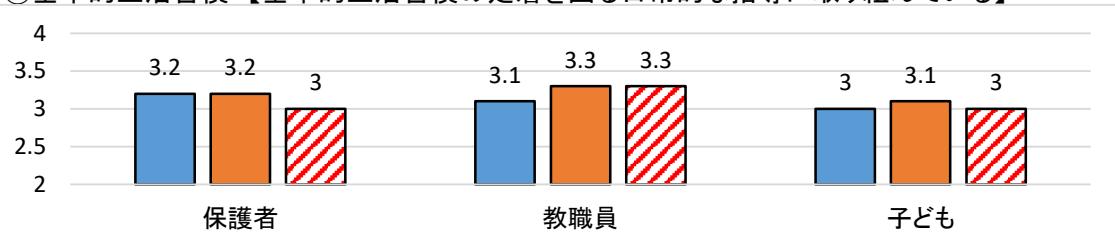
令和5年度から学校体育研究推進校として、児童が生き生きと運動に親しみ、「分かる」「できる」「楽しい」を実感する体育の授業づくりに努めてきた。教職員の意識が大きく変化しているので、今後はこれまでの成果を他教科にも拡げていきたい。

⑬防災・安全教育の推進 【子供たちの防災・安全意識の向上に努めている】



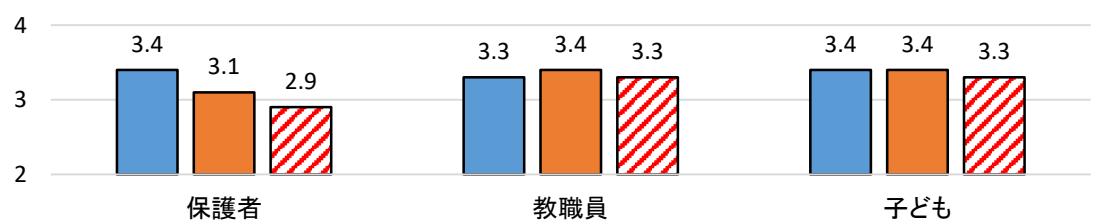
今年度も地震による火災発生避難訓練、豪雨による一斉下校引き渡し訓練等、防災・安全教育に努めてきた。子どもたちの意識が高いので、熊本地震や豪雨災害から時間がたつにつれ意識が低下しないように今後も防災・安全教育を充実させていきたい。

⑭基本的生活習慣 【基本的生活習慣の定着を図る日常的な指導に取り組んでいる】



家庭における早寝・早起き・朝ごはんの推奨を継続して行ってきた。令和6年度「心のアンケート」結果からも、スマートフォンやゲーム等の利用で就寝時間が遅くなっているなど不規則な生活になっている傾向が見られるので、家庭と連携しながら基本的な生活習慣の確立に努めていきたい。

⑮感染症対策 【感染症対策や事故防止に取り組んでいる】



新型コロナウィルス感染拡大が次第に収まってきたため、家庭及び学校において手洗い・うがい・換気など感染症対策の意識も次第に低下している傾向がある。今一度基本的な感染症対策を再確認し、健康で安全に過ごせるよう指導していきたい。

⑯食育の推進 【給食指導を通して、望ましい食習慣の育成に努めている】



学校体育研究推進校として食育の充実にも努めてきたが、子ども、保護者、教職員ともに昨年度と比べて意識が低下している。今後は栄養教諭及び学校給食センターと連携を密に図りながら、食育の充実に取り組んでいきたい。